

相場：皆さん、こんにちは。相場師朗です。

加藤：こんにちは、アナウンサーの加藤満理子です。

まずは第3話のおさらいなのですが、第3話ではお弟子さんの亀山さんに実際のトレードを再現していただきました。また、前川さん、〇橋さん、亀山さん、3名の皆さまに、相場さんの熱い講義のお話とか、それぞれに皆さんが日々、技術を高め合っている。そんなお話をしていただきました。

さあ、いよいよ最終回の第4話を迎えました。今回は相場先生からトレード手法をみっちり学ぶことができるプロジェクトを公開いたします。プロジェクトの内容につきましては、主催会社であるウイニングクルー株式会社の藤岡さんにご出演いただき、説明をさせていただこうと思います。ウイニングクルーは金商第2098号の投資コンサルティング会社です。藤岡さん、よろしくお願いします。

藤岡：よろしくお願いします。ありがとうございます。

加藤：それでは、引き続き、第4話も前川さんにご出演いただきます。よろしくお願いいたします。

前川：よろしくお願いします。

加藤：前回までに3名のお弟子さんにご出演いただいたのですが、その3名のお弟子さん以外にも、たくさんの方々が実際に成果を出していらっしゃいます。その映像がございしますので、どうぞご覧ください。

(中断)

加藤：いかがでしたでしょうか。性別や年代、職業を問わず、いろいろな方が成果を出していらっしゃるのですね。

相場：そうですね。主婦の方もたくさんいらっしゃいますし、リタイヤした老後の方もいらっしゃいますよね。前川さん、どうですか。お仲間の感想というか。

前川：いや、あれはすごいのですよ。すごい初心者の方で、畑仕事をしているのに、ずっと畑事中、師匠の音声を聞いている方がいて。

加藤：へえ、すごいですね。

前川：その人はすごく、ちゃんと師匠のギャグとかまで覚えていて、すごく素直にやるものですから、日産自動車か何かをすごいだだ取りで取っていたり、やはり 2,000 人もいるとすごい人がいますよね。

相場：いますよね。あと、家でお皿を洗いながら、私の講義を。

加藤：講義を聴いて。

相場：聴いてくれているとかね。だから、前回、前川さんとか、あと、〇橋さんとか、亀山さんとかに出ていただいたけれども、そういうおじさんたちだけではなくて、もっと年代の上の方、もっと年代の下の方、それから主婦とか、いろいろな方がいらっしゃいますよね。もう前川さんにご同業のお医者さんもいたり、学校の先生もいるし、警察官もいるし、あとはリタイヤ組もたくさんいるし、何かもう全部いますよね。全部いる。

この間、俺、ある都内のホテルに行ったら、何かホテルのドアマンが「あっ、先生」「どうもどうも」。

藤岡：おっしゃってましたね。

相場：タクシーに乗っていたら、タクシーの運転手が「ああ、先生」。何だ、これは。喫茶店でも、何か銀座のルノアールで。ああ、言ってしまった。コーヒーを持ってきて、「ああ、先生」。ちょっと裸で歩けない（笑）。

加藤：それは駄目。もともと歩いては駄目ですよ。

相場：とにかくいろいろな方がいらっしゃって、一生懸命、努力を続けていて、成果をそれなりに上げていらっしゃるなという感じがしますね。

加藤：前回までにご出演いただいた 3 名の方が特別というわけではないということですね。

相場：わけではないですね。

加藤：それを分かっていただけたのではないかなと思いますね。

相場：そうですね。3 名の方は比較的、もう社会で、自分のビジネスでも成功された方だから、お時間が取れるわけですよ。他の方はまだ会社に勤めながらとか、赤ちゃんをあやし

ながらとか、病院で点滴を打ちながらとか、そんな方もいらっしゃるから。いろいろたくさんの方がいらっしゃる。みんな、善人。いい人ばかり。

加藤：皆さん、本当にお顔が柔らかいのですよね。

相場：へえ。触ったことがあるのですか。みんなをこう触って。

前川：柔らかい、柔らかい。

藤岡：表情が。

加藤：表情。

相場：ああ、分かりました。

加藤：粘土とかではないですから。

前川：加藤さんが触るような人だったら、怖いですよ。

藤岡：受けます（笑）。

加藤：そろそろプロジェクトの内容の話に移ろうと思いますが、その前に、相場さんから皆さま方にお伝えしたいことがあるというふうに伺っておりますが。

相場：なるほど。今回のプロジェクトは、株トレードの技術を身に付けていただくという道場なのですね。道場ですから、何か「セミナー」より「道場」という名前を付けたほうが、何かこう、いいかなと。じっくりいく。われわれが皆さんと一緒にやっていることというのは、何か道場のほうがじっくりいく。皆さん、日本人が多いでしょうから「セミナー」ではなくて「道場」のほうがじっくりいくというのは、何となくこんな感じだということを感じ取っていただけるのではないかなと思うのですね。

簡単に言うと、お金もうけの方法をお教えする。結構、軽い言い方ですとね。ですけれども、実は、先ほど皆さん、いい方々が多いということですから、皆さん、やはり努力をしていきますね。失敗したら、ちゃんとそこを反省して。そして、どうしたら、次、うまくいくのだろうか。自分の良くなかったところはどこなのだろうか。今日より明日、明日よりあさってと自分を伸ばしていく。そういう姿勢ですから、プロ野球の選手もそうだし、プロテニス選手もそうだし、それから世間一般には出てこない、世の中のうまく成

功している人たちというのは、やはり本当は影の努力。よく湖か沼で、鳥は優雅な顔しているけれども、下ではちゃんと足が動いているのだ。

加藤：足を、そうですね。

相場：ああいうイメージの方がたくさんいらっしゃると思うのですよね。ですから、お金もうけ。要するに利益を上げて、資産を豊かにしようという集まりではあるけれども、大人の集まりですから。やはり昔、バブルのときはやった、札束で人のほっぺたをぺちぺち。こういう人たちはまずいないし。

加藤：いらっしゃるらないですね。

相場：あるいはそういう感じでなく、やはり社会人として節度を持つというか、自分を高めるいい大人の集まりになったらいいなというふうに思っておりますね。

あとは、運氣というのは、われわれぐらいの年になると運氣というのがあって、運気の流れというのが分かってくるわけ。55年も生きてると、やはりこんな全盛期だった人がもう地に落ちたり。やはり皆さんで資産形成をしていく中で、努力をしながらも、運気を落とさないというのは、やはり人としての部分も必要になってくる。大人としての自己成長をしながら、あるいは例えば社会のためというか、ちょっと少し口はばったくなるけれども、何かそういうのを持っている、いい大人の集まりにしていきたいな。

大事なのは決断。決断というのは決めて断つ。やはりエステティックサロンのように、ベッドの上で横になっていたら、きれいにしてくれるというのはないわけですよ。やはりお教えすることは一生懸命お教えして、全力でお教えするけれども、受けた人がずっと聴いていて、私が30年かけて学んだことですから、前川さんだって、他に出ていただいたO橋さんだって、亀山さんだって、最初聞いたときは分からないわけですよ。分からないのを、こう講義を聴いて、はい、終わり。次、講義を聴いて、終わり。はい、終わりの繰り返しだったら、いつまでたっても身につかない。分からなかったのを、ご自宅に帰られて、何度も何度もよく考える。送られてくるビデオを、1回ではなくて、2回も3回も4回も、7回見たという人もいます。そして、あっ、なるほど。最初に聞いたのはこういうことだったのだな。そういう努力は確かに必要になりますね。その努力をする決断をしていただく。決めないとできないですから。

座っているだけで、何か放送局に最初から、ラジオ局に入られて、ラジオ局で座っていたら、アナウンスが上手になるということはないではないですか。

加藤：はい。

相場：やはり家でも練習をするし、会社で、会議室で鍵を閉めて、見られない状態で何回も何回も練習して、やっと上手になるわけではないですか。やはりそういう努力をしようという決断をぜひしていただきたいなと思うのですね。

その代わり、練習をすれば必ず上手になります。徐々にですが、必ず上手になる。イチロー選手は、子どものときから夜寝る前の15分の素振りは一度も欠かしたことがないというわけですよ。実は株塾のおじさんたちも、おばさんたちも、お姉さんたちも、1日5分、10分。あるいは1時間、練習する人もいるけれども、それで上手になって。その代わり、皆さんがお給料で取っている金額なんていうのは取れるようになる。うまくいけば、多くの方が退職金レベルの金額を1年で取れるようになるということも全く夢ではなくて、現実に〇橋さんだって、亀山さんだって、前川さんだって、他のたくさん、退職金レベルというのはあるのですね。だから、それは必ず練習すればあるので、練習を、努力をしよう。より良い自分、もっと上の自分を目指そうという決断をしてもらいたいなという感じがしますね。

そういう皆さんにぜひ来てほしい。もうこれを語ったら、俺はあと200時間話さなければ。

加藤：そうですね。だんだん何か講義のように。だんだん熱いなと、お隣にいても思うようになりました。

相場：これぐらい一生懸命教えます。先輩たちも一生懸命教えて。

加藤：フォローしてさせていただきますもんね。

相場：はい。

加藤：相場さん、ありがとうございました。私自身も、相場さんとお仕事でご一緒するようになってから、少しずつではあるのですが、練習をし始めました。以前は、本当にチャートをぼーっと見ているだけだったのですよ。陽線、陰線があるなぐらいに見ていたのですが、最近は移動平均線の向きとか、前の高値とか、安値とか、やはりちょっと眺めるというよりは読む。少しずつ読むような形に変わってきているのかなと自分でも感じています。

相場：女相場師の誕生です。

前川：さすが。

加藤：まだまだでございますが。

相場：もうラジオ NIKKEI だから。株と競馬だ（笑）。

加藤：そうですね。

相場：土日は競馬新聞で。

前川：平日は株で。

加藤：株で。

相場：でも、加藤さんが、今、言った、読む。眺めるではなくて読むことで、やはりちょっとワンランク上がったかなと、言葉から分かるかな。

加藤：何か同じ陽線でも、いい陽線と悪い陽線とか、何となくその表情というのですかね。ちょっと違いがあるのを感じられるようになってきた。

相場：職人になってきたね。道場、職人。

加藤：はい。

相場：道場（どうぞ）、頑張ってください（笑）。

加藤：はい。頑張ります。前川さん、いかがですか。

前川：僕も師匠からいろいろ教えられて、例えば3カ月上がったチャート、6カ月上がったチャートがこの後どうなるか。それもいっぱい見れば、この後どうなるか、分かるわけではないですか。分かっているところで、例えば売りを入れて、うまくいったら、ごちそうさま。うまくいかなかったら建玉の操作というのを、基本動作を何回もたたき込んでいたでいるので、それをやるわけですね。事業計画を立ててやる。そうすると、この間10戦10勝やった。

加藤：ああ、すごい。

前川：やはりうれしいですね。こうなるだろうとね。

相場：もうかったことではなくて、流れを読んで、建玉の操作をして、取れたというのがうれしいね。

前川：ええ。散々いっぱい見て、3カ月上がったやつ、6カ月上がったやつがその後どうなるかというのを、そこばかり探して、見て、やり方もこうするのだ、こうするのだとちゃんと計画を立ててやりきる。そうしたら、ここはもう負けないなと思うわけではないですか。ここは何とでもなるぜ。そこだけやっておけば勝てるのですけれども、やはりこう一緒に頑張ってくれている〇橋さんとか亀山さんがいらっしゃるので、ここはマスターしたから、次、今度、下半身を極めてみようとかが思ってしまったりとかして。

加藤：得意技を増やすのですね。

相場：得意技を増やすね。下半身という得意技がある。5日線の上に陽線が出ていけばね。

前川：もう何か楽しいですね。

相場：技を増やしていくね。前川さんだったら、治せる病気をどんどん増やしていくとかね。今まで診断できなかった難しい病気を、これは何病かな。そんなイメージでしょうかね。

加藤：さあ、それでは、プロジェクトの内容について、藤岡さんからご説明をお願いいたします。

藤岡：はい。では、それではプロジェクトの内容についてお話しをいたします。今回のプロジェクト名は「株トレード道場-The Final-」です。The Final というふうにつけさせていただいたのは、私たちの決意の表れで、もう相場先生のトレード手法を、われわれももう最後になるくらいの覚悟で研究をさせていただいた結果、The Final という名前を付けさせていただきました。

では、内容についてご紹介させていただきたいと思います。今回、プロジェクトで最もこだわったポイントがございます。それは、まずカリキュラムの構成でございます。相場先生の本物のトレード技術をどうやっていち早く皆さんに習得いただいて、その先にあるトレードの成果に直結できるかということをコンセプトに、本当に先生のトレード脳がどうなっているかというのは、前川さんにも多大なるご協力を頂いて、この数カ月間、先生とお会いするごとに根掘り葉掘り質問しまくらせていただいて、もうお会いする度に前川さんと。

相場：質問島倉千代子。

前川：千代子。もう師匠が通りがかる度に、あっ、来た来た。取りあえず、通る度に 1 回聞くというね。

相場：何かトイレで一緒になって、立ちしょんしていて、前川さんが「師匠、あの場合はどうします?」「いや、今はもうチャックを閉めてからにしよう」。

前川：バズーカのような品格で。

藤岡：そうですね。ということで。

相場：今、軽く流された (笑)。

藤岡：ということで、われわれも本当にたくさん勉強させていただいたということで、カリキュラムの構成については、今まで以上に自信を持った形でご提供できるのではないかなと思っております。

相場：そう。今、ちょっと付け加えていいですか。

藤岡：はい。

相場：確かにそのとおりで、今まではいろいろな。後で質問も出てきますが、私のセミナーというのは全部、構成を自分で考えた。俺が自分で考えた。要するに主催会社のウイングクルーさんは、俺が言うとおりの、ただ、しゃべってください。

ところが、今回は、さらに進化というのがよく分かった。前川さんがトイレでも聞くし、歩いていて聞いてくるし、飲む途中でも、酒は何かどこかに捨てられてしまって、話を聞いてくるし。それを考えて、何をしているのかな。自分で上手になりたいのかなと思ったのだけれども、もうだいぶ上手だし。なるほど。この「株トレード道場—The Final—」のために、今度は相場師朗にカリキュラムを作らせるのではなくて、相場師朗の脳みそを引っ張り出して、2人で整理したのでしょうか。

藤岡：はい。

相場：この整理したカリキュラムがこっちに来て、このとおりやってくださいと。そうす

ると、普通の人分かるようになりますよということをやったのでしょう。

藤岡：おっ、ばれました（笑）。

前川：ばれましたか。

相場：何か雰囲気が違う。

加藤：いつもと違ったのですね。

相場：いつもと違う。そう。だから、今までは自分でやっていたのだけれども、それはできる人が作ったカリキュラムではなくて、皆さんがそれを整理して、多分、一般の方も分かるように整理し直してくれたのだよね。そんな感じでしょう？

藤岡：おっしゃるとおり。はい、ありがとうございます。

では、このプロジェクトの5つの特徴をご説明させていただきたいと思います。「株トレード道場—The Final—」、5つの特徴、その1。まず3カ月間、全5回のセミナーを東京と大阪で開催させていただきます。これは今までのカリキュラムと同じでございますが、地方や海外の方、当日、会場に来られない方にはセミナーの映像を全編、収録いたしますので、会員サイトで何度でもご覧いただけます。そして、セミナーは全てテキスト化しまして、文字起こしをいたします。先生の講義の内容を一言一句逃さずテキスト化しますので。

相場：俺、メロンも好きだけれどもイチゴ。

藤岡：イチゴですね。イチゴイック。

前川：というギャグも文字起こし（笑）。

藤岡：たまに文字起こしすると悩むときが。

相場：英訳するとき、もっと大変。

藤岡：あと、悩むのは下ネタです。これも、でも、一言一句、原稿化しますので、下ネタもさらに味わい深く。皆さんにも。

相場：分かりました。任せてください。

藤岡：というのが1つ目の特徴でございます。

特徴のその2。株好きの仲間の方とか先輩との出会いの場をご提供したいというふうに考えております。これは、基本的に株式投資というのは、今までは孤独なものというふうに考えられがちでした。今回のプロモーションの動画でも引用させていただきましたが、相場師の是川銀蔵さんのお言葉の中にもございますが「相場の道、すなわち孤独に徹すること」というお言葉もございまして、やはり基本、株式投資というのは、過去からあまり口外しない、公言しないものという風潮がありました。ですので、私も経験があるのですけれども、会社でこっそりトイレに行ってチャートを見るとか、あと、ご主人とか奥さまにばれないように株をトレードするという方も、たくさんご経験がある方がいらっしゃると思います。

これは何でだろうということをご私なりに考えたのですけれども、これのポイントは3つあるのかなというふうに思っています。1つ目は、やはり日本人はどうしても勤勉な文化というのがあるので、勤勉に働くことが美徳であって、株式投資でお金をもうけるということに対して、あまり皆さんが良いというふうに思われたいという風潮があったのかなというふうに思っています。

相場：なるほど。俺たち悪人の集まりだね（笑）。

前川：極悪人ですね。

相場：極悪人ですよ。はい、それで？

藤岡：でも、これをご覧になっている方は、皆さん、共感いただいて。

2つ目は、よくこれもあるのですけれども、もうかったら、すぐ「おごってくれ」という同僚の方とかお友達の方がいらっしゃるって、それまでの苦労を一切無視しているという方もたくさんいらっしゃるのではないかと。

あと、3つ目。これが一番多いのかもしれないのですけれども、結局、負けてしまって、気まずくて言えない。資産を減らしてしまって、これはこっそり、前川さんもお経験があると。

前川：もう内緒ですよ。

相場：あとはやはり相場の道と、是川さんが言うぐらいたと、結局、昔は相場師は、自分の建玉を明かさないと、要するに自分がこれから何を売ろうか、何を買っているか。例えば、今、だって、相場師朗がこれを買っていると言ったら買ったでしょう？

前川：いや、もう。

相場：それで、もうかってしまうでしょう。これはやはり隠さないと、玉の乱れが。要するに出来高の乱れ、板の乱れが生じるから。是川さんなんかだったら、もう何百万株と仕込むので、それは先に証券会社にばれないように、地場証券で静かにやるとか、あるいは名前を変えて、北海道で発注し、九州で発注し、中部で。これは多分、孤独の道というのは、彼、相場師としてはそういう部分もあるのかな。

藤岡：なるほど。

相場：ただ、一般の皆さんから考えたら、そこまで大きくやらないのだから、今、=シン= (00:20:19) ちゃんが。=シン= (00:20:20) ちゃんというのですね。=シン= (00:20:22) ちゃんが言った内容なのではないかなとなりますね。いい感じですね。

藤岡：ありがとうございます。

ただ、先生の周りには、先ほど動画でご出演いただいた前川さんをはじめ、O橋さん、亀山さんのように、たくさん株好き軍団が。

前川：大好き（笑）。

藤岡：本当に皆さん、お好きですよ。トレード道場にご参加いただければ、当然、セミナーの後には懇親会も開催しますので、もう思う存分、株談義をしていただいて。しかも、懇親会はチューターとして、先生のお弟子さんもたくさん、また足を運んでいただく予定でございますので、そういった皆さんの失敗談とか経験。

前川：株好きの中の株好きが集まるわけですね。うちの懇親会では。

藤岡：とんでもない有意義な、大変貴重な会をご提供できるのではないかと。

相場：そう。それで最近、成功しているOL軍団。

前川：いますね。

藤岡：いらっしゃいますね。

相場：40代前半から後半、50代の初めぐらいのOL軍団がいるのですよ。60人、70人。これは一人一人だとそんなにうまくいってなかった。ちょっとプラスぐらい。ところが、LINEでこのグループができたなら、みんな、何か「私、300万」とか「私、200万」とか。要するに自分が不安に思っているところをそれぞれ補完し合いながら教え合う。同じ銘柄をみんなで作るとかそういう。

加藤：わけではないのですね。

相場：そういう何か世の中の悪い部分ではなくて、それぞれ違う銘柄をやっているけれども、自分の勉強成果をLINEとかコミュニティーで出し合って、誰かがこう、わーっと落ち込んでいると「駄目じゃない、頑張らなきゃ。練習しようよ。今こそ練習だ」。それで、おばちゃん……。おばちゃんではない。

前川：お姉さま方。

相場：お姉さま方が。いや、みんな、もうハッピーハッピーの濃い好循環。

藤岡：おっしゃるとおりですよ。

加藤：いいですね。うらやましいです。

相場：それがコミュニティーですよ。

藤岡：そうですね。でも、懇親会に来られない方も専用のコミュニティーをご用意いたしますので、もうまさに、今、先生がおっしゃっていただいたとおり、オンラインで盛り上がっていただいて。結果的に、そうやってコミュニケーションすることで、継続して頑張るというモチベーションにもつながるのかな。

相場：女子会をつくって、女子会勉強会とか。

藤岡：やっというらっしゃいますよね。

相場：やっているの。お食事会とか。

藤岡：やっというらっしゃいますよね。

相場：やっていますよ。

藤岡：そういう意味でもやはり非常に重要な、株で勝ち続けることを目標としたときには、このコミュニティーというのは大変重要だと思いますので、こういったものは株トレード道場ではしっかりとやらせていただきたいと思っております。というのが 2 つ目でございますね。

では、ポイントの 3 つ目、その 3 ですね。これは相場先生のプロジェクトでは初めてです。講義内容に即したオンラインの教科書というものをご提供させていただこうと。

相場：これは何ですか。

藤岡：これは、今までですとセミナーを先生に開催いただいて、セミナーの内容を皆さん、何度も復習することで身に付けていただくというのがわれわれのプロジェクトの今までのスタイルだったのですが、今回は事前に教科書。つまりこういう講義をやるのだというものをオンラインで撮らせていただいて、それを皆さんに見ていただいて、セミナーに参加することで、今度はそれをどうやって、実際にケーススタディーを先生に解説いただくことで、さらに皆さん。

相場：予習をしてくる。

藤岡：おっしゃるとおりです。

相場：から、予習して行って、私の講義を聴くから、それがもう復習なのだ。

藤岡：ええ。ですので、問題集を解くみたいな感覚でセミナーに来ていただくので、もうセミナーの理解度が圧倒的に高まる。

相場：知らない間にこんなものも作っていた。

前川：そんなことしたら、すぐ勝ってしまうではないですか。

相場：それが目的。

前川：僕らが 3 年かかって、しこしこ。これはすごい。

相場：待って、俺の 34 年をどうしてくれるの (笑)。

前川：なかったことに。

相場：すごいね。でも、効率はいいかもしれないですね。

藤岡：初めて教科書という概念で、コンテンツを事前にご提供させていただこうと。

相場：これは俺も初めて聞きました。本当に。

藤岡：撮影日程はまた後日。

相場：分かりました。はい、結構ですよ。

藤岡：というのが3つ目のポイントでございます。

その4ですね。今度は、これは講義のポイントを相場先生、または前川さん、先ほど出
ていただいたO橋さん、亀山さんにもご協力いただいて、補講動画を配信させていただ
こうと。先生が講義でお伝えできなかったことや、初心者の方で今さら聞けないみたい
なポイントもやはりよく伺いますので、そういった内容をお弟子さんにご協力いた
だいてご提供しようかと。

相場：私がやる補講動画を出すのではなくて、今日の講義の内容からいったら、後輩
たちにはこれとこれをもっと分かってもらいたいと、皆さんで作ってくれるのですか。

藤岡：おっしゃるとおりです。

相場：簡単に言うと、俺が補講動画をサボって出さないから。

藤岡：いや、それはそれでクレームが来る。前回、クレームが来てしまった。

加藤：補講動画はないのですか。

相場：ないのですかと。それで「いや、もうちょっと待ってください」なんて、何か。今、
出発します。

前川：そば屋の出前。

相場：そば屋の。これは大丈夫。すごく助かりますね。

前川：これは、では、東大の講義風とか、MBA の講義風の補講動画をやるということですよ。

藤岡：そうですね。あと、伝道師の伝道師風。

前川：おでん風に。

相場：これ。いや、これはいいね。私はすごく助かります。

藤岡：こういった形で補講動画も充実させていただきたいなど。

相場：よく考えたね。これはやはり **The Final** だね。

藤岡：ありがとうございます。

前川：集大成。

相場：集大成。次は？

藤岡：ポイントの 5 つ目ですね。初心者の方でも安心していただけるように、充実した体制でわれわれがサポートしていく。

相場：何かこれはどこにでも書いてあるのではない？ これはどこにでも。俺は 3 番と 4 番がすごく良かったけれどもさ、初心者の方でも安心していただける充実した体制で。どこかの健康食品会社もそうだし、どこかの美容外科もそうだし。

藤岡：ありきたりと思われがちなのですが、ここは違います。

加藤：ここからが。

藤岡：ここからです。ちょっと、ここから。大したことはないかもしれない。われわれは相場先生ともう 4 年間、一緒にコンテンツを作らせていただいておりますので、もうわれわれのノウハウもそれはそれなりにたまっていますので、われわれとしてもサポートで、実際にスタッフではうねり取り、もしくはショットガンを実践しているメンバーもたくさ

んいますし、実際に勝っているメンバーも。

相場：よくスタッフはやっているよね。

藤岡：スタッフががんがん勝っていますので。

相場：何か会社の中で、みんなでトレードをしている。何だ、この会社は。

前川：2画面があって1個はチャートなのですよ。

相場：そう。2画面があって、1個はチャートだもん。会社ではないじゃん。

藤岡：あとは、スマホがチャートの画面だったり。

相場：この人の受講料を俺はもらってないのだよ、みんな（笑）。

藤岡：結果、上手になった。ですので、われわれは皆さんがどういったところで悩まれるかというのをわれわれなりに理解しているし、パソコンのスキルとかも、どういったところが直ると、より学習の効率が上がるかというところもわれわれは理解しているつもりです。もうどんどんお電話やメールを頂ければ、皆さんに全力でサポートしていこうというふうに考えております。

前川：女性スタッフとか2,000人、サポートしているのですもんね。

藤岡：そうですね。だから、それで本当に問い合わせに対する回答もすごくこう、コンパクトにまとめて。

相場：だから、あんなに対応しているから、普段しゃべらなくなってしまう。いつもしゃべりまくっている。

前川：なるほど。だって、電話しながら、メールの返事を書いていた。もうすごいな。

加藤：すごいですね。

前川：技ですよ。

相場：これはすごい。

前川：サポートは技術だ（笑）。

相場：前川さんなんか、カツ丼食いながらオペしているの。

前川：もう、その通り。

相場：心臓外科。カツ丼を食いながら、している。

藤岡：カツ丼の衣が入ってしまったり。

相場：衣が入ってしまって。ばかだね、俺たち（笑）。

藤岡：ということで、こういった 5 つのポイントで、われわれは全力で「株トレード道場—The Final—」を実現していきたいと思っております。

もちろん、この他にも皆さんのトレード技術が向上する催し物というのをどんどん企画してまいりたいと思います。これはいろいろと、前川さん、この他にもいろいろやらせていただいていますよね。

前川：はい。もうすごいですよ。船上パーティーとかもう、俺がこう。

藤岡：俺がこう、って。

前川：マグロの解体とかも。

相場：あまり言いすぎたら後で叱られます。

藤岡：あとは温泉合宿。

前川：温泉はいいですよ。バズーカが本物かどうかという議論にも決着がつけましたし。もう、ずっと株の話ですからね。

藤岡：ずっと株の話になってしまいますからね。

ということで、株トレード道場をわれわれも全力で頑張りたいと思います。これは 5 つのポイントでございました。

相場：いいですね。だいぶ進化だね。だから、主催会社が相当、今回は工夫を加えましたね。

藤岡：ありがとうございます。

相場：俺が言うのも何だけれども。俺がサボっている分、これは全部入っているもん。はっきり言って。

藤岡：いえいえ。とんでもございません。

相場：いい講義を、俺はば一っとやればいい。

加藤：そうそう。そこにもう集中していただいて。

相場：あとはスタッフ一同が。これはすごいな。コミュニティーもいいでしょう。それから、オンラインの教科書を作るのもいい。予習してくるから、多分、本番の講義はみんな、もっと分かるようになるね。補講動画、いや、これもいいですね。

加藤：より充実した。

相場：この 5 番目の初心者の方でも安心していただける充実したサポートは、あまりちょっと普通かもしれないけれども。まあ、いいや。

藤岡：頑張ります。

相場：はい、お願いします。

加藤：藤岡さんに説明していただきました。

続いては、この動画をご覧の方々からのご質問を頂いているので、お三方にお答えを頂ければと思います。

相場：なるほど。分かりました。

加藤：まず、これは前川さんから行きましようかね。株初心者でも付いていけますか。どうでしょう。

前川：もちろん、大丈夫ですよ。

相場：すごく気合が入っている。

前川：すごいですよ。入ってきたときに、移動平均線というのが何かも知らなかったのに、3カ月にチャートが読めるようになって、4カ月目から着々と勝っている人がいるのですよ。

相場：結構います。

前川：逆に、変な知識がなく。

加藤：先入観なく、素直に。

相場：ないほうがいい。

前川：もう、すつと受けた人のほうが。

相場：のほうがいいですね。

前川：ぐつと行ったりしますよね。

相場：何だよ。すつと行って、ぐつと。まあ、だから。

藤岡：ハッとして Good。

前川：ハッとして Good。

相場：そうですね。5回のセミナーの中で、1回目というのは、みんな、分からないものなのです。いろいろ質問が来るけれども、質問しないでくれよ。だって、みんな、分からなくて当たり前だ。すぐ分かったら、俺よりうまいじゃん。大丈夫。本当に、1回目、移動平均線が分からなくても、卒業するときにはもう当たり前になっているから、大丈夫ですよ。

前川：「これはこの後、下がりますね」とか言うのですよね。

相場：言うのだよね。すごいよね。

加藤：すごいですね。その上達の。

相場：あなただってそう。次、ネクスト。

加藤：次は相場先生に。相場先生の手法はどのような銘柄に向いているのでしょうか。

相場：これは、出来高が多い銘柄のほうがいいですね。よく投資顧問業者さんで、皆さん、一生懸命やっているのだからけれども、1日の出来高が5,000株とか3,000株の銘柄を「クライアントに推奨しました」と言って、「こんなに当たりました」と言っているけれども、1日の出来高が5,000株の銘柄というのは、クライアント5人に推奨したら、もう5,000株行ってしまうのだから。100株単位だって、50人に推奨したら、すぐ行ってしまうのだから、簡単に言えば、あなた、それは当たったのではなくて、自分のクライアントに買わせて上がっただけではないのという話なのです。それは多分、聞いたらご本人も分かっていると思うのだよね。

そうではなくて、われわれは売りもたくさん入ってくる。買いもたくさん入ってくる。世界中から売りも買いも入ってくる東京マーケットの大きな銘柄。そうすると、売りと買いが重なるから、きれいにこうトレンドができる。それを、トレンドができるから、先読みをして仕込んでいったり、ここは絶対に。われわれはあるではないですか。ここはほぼ行けるという。老若男女、ここはというのがあるではないですか。そんなことができるのが出来高の多い銘柄。

具体的に言いますと、JPX400とか、日経225に採用されている400銘柄とか225銘柄。簡単に言うと、皆さんが誰でも知っているパナソニックだとか、ホンダだとか、要するにそういうところ、そういう会社ですね。買いたければ買える。売りたいければ売れる。つまり流動性がある。

1日5,000株しか売り買いがないものをみんなで買って、こんなに上がってしまったというのは、自分が売ったらすぐ下がってしまう。それを専門用語というか、流動性がない。流動性がある銘柄がいいですね。

それから、売りと買いを取っていきますから、下がっても取れる。上がっても取れる。従って、いわゆる世の中でいわれている貸借銘柄と呼ばれているものですね。空売りができる銘柄ですね。

加藤：続いては、PC、パソコンが苦手でも大丈夫でしょうかというご質問があります。藤岡さん、いかがでしょう。

藤岡：はい。先ほど、先生からも普通ではないかと言われましたけれども、充実したサポート体制でさせていただきますので。

相場：隣の会社でも書いてあるよ。

藤岡：われわれはそれほどPCの操作がすごく複雑なものをご提供するわけでもございませんので、動画をご覧いただく、もしくは会員サイトに登録いただくという程度でございますので、初心者の方、PCが苦手な方でも全然、問題なくご利用いただける。

相場：はっきり言って、だって、これが聞ける人はもう大丈夫。

加藤：そういうことですね。

相場：今、聞いている人は全部、大丈夫です。

藤岡：おっしゃるとおりですね。

加藤：はい。では、安心してご参加いただきたい。

相場：初心者の方でも安心していただける確実なサポート体制。

藤岡：普通ですね（笑）。

加藤：続いては、やはりこれが気になる方は多いと思うのですが、どのぐらいの投資資金が必要でしょうか。

相場：前川さん、これは一番安い、少ない金額から行くと。

前川：30万。

相場：30万円。30万円が証券会社の口座に入っていれば、先ほどの空売りもできる、買いもできる銘柄を扱うことができますから、30万円ですね。

私は昔、60万円から、大学時代に始めました。前川さんは6億円から始めたのでしたっけ。

前川：いやいやいや。

藤岡：ロケットスタートですね。

相場：この人は、自分の結婚式のご祝儀を全部、カジノですってしまった。まあ、いいか。

加藤：そういう過去があり。

相場：前川さんはもうだいぶお上手になられて、今は億単位でやられているし、私も億単位でやります。つまり 30 万円からの方でも大丈夫だし、数億円。

加藤：資産の余裕のある方でも。

相場：ある方でも全く大丈夫です。今、私の弟子になっている人で、既に自分で、株で 19 億円稼いだというのを、やはり自分の手法にちょっと心配があるし、100 億円にしたいからと、今、弟子で来ている人もいますし。

加藤：さらに勉強を重ねていらっしゃる。

相場：うん。それから証券会社のディーラー。要するに証券ディーラーもいます。だから、元ファンドマネジャーもいるし。簡単に言うと、銀行の俺の元上司も。

藤岡：分かりやすい。いらっしゃいますね。

相場：資金は 30 万円から数十億円まで大丈夫です。

加藤：大丈夫ということですね。

あとは、こちらも多いでしょうね。昼間、私のように仕事をしている方も多いと思います。昼間、仕事をしていても大丈夫でしょうか。

相場：、大丈夫。われわれの手法は、昼間はやらない。

加藤：ザラ場は見ない。

相場：ザラ場は見ない。これがわれわれの掛け言葉、合言葉。ザラ場は見ない。さっき、あそこで見えていた人がいる。ザラ場は見ない。

加藤：基本は。

相場：基本は。日足ローソク。日足の流れの中で、夜、一生懸命考えて、明日のマーケットが始まる前に注文を入れてしまう。あるいは引けぐらいにちらっと見て、そこで注文を入れてしまう。従って、昼間はお仕事をされていても全く大丈夫です。

加藤：はい、安心してください。

続いては相場先生の他の講座との違いを教えてくださいというご質問があります。藤岡さん。

藤岡：はい。ありがとうございます。先ほど特徴でご説明を差し上げたとおり、簡単に言うと全然違うというふうに、われわれは自負をしています。今までは、先生の講義も常に進化していらっしやいますし、それをわれわれも最大限、皆さんに分かりやすくお伝えするというのを、本当に前川さんにご協力いただいて、徹底的にやらせていただきましたので、今までよりもさらに分かりやすく、さらに皆さんのトレードの成果に直結する内容でご提供できると。

加藤：自信を持って。

藤岡：もう、全力で。

相場：簡単に言うと、もっと具体的に言うと、この3番と4番、あるいは2番が最近良くなっている。3番のオンライン教科書のご提供というのはいいです。それから補講動画。なぜかという、さっきも言ったけれども、今までは、私が自分で自分のその日の講義内容を考えていて、ウイニングクルー、要するに運営会社は一切、口出ししてこなかった。だいたいそれを重ねてきたので、それを取り置きしたのがいっぱいあるわけ。それを皆さんで分析してくれて、これは初心者に教えたのがいい。ここを先に教えたほうがいい。俺の頭の中でぐちゃぐちゃになっているのを全部、整理してくれて、それにまた前川さんとか他の方々のスパイスを加えて、初心者とか中級の初めぐらいの人がより分かりやすく、組み立て直してくれたのです。

だから、例えばアインシュタインがすごくできるからといって、数学の名先生とは限らないわけですよ。それを、簡単に言えば、俺の頭をうまくやってくれたのでしょうか？ もういなくなっても、勝手にやるつもりなのではないか。

藤岡：いやいや。それはないです(笑)。

相場：そんな感じですよ。

藤岡：ありがとうございます。

前川：80になっても講義してますよ。

相場：だから、他のと全然、今までの私の他の講座と違うところはそういうところでしょうね。

藤岡：おっしゃるとおり。ありがとうございます。

加藤：より親切にというのですかね。

相場：そうです。だから、これは全5回になって、俺が2回目で死んでも、多分できるようになっているの。多分。

加藤：いや、でも、講義5回は、セミナーがありますので。

相場：過去、撮りためたものがいっぱいあって、それを並べ替えて、あいつにしゃべらせよう。すると、受講生は相当、理解が速くなると、2人で戦略練っているのですよ。

加藤：なるほど。

相場：だから、俺は、これはいいと思いますよ。過去を知っている、内部を知っている私から見ても、今回はいい。

加藤：よくぞやってくれたと。

相場：はっきり言って、そうですね。一番いいと思う。

加藤：はい。続いては、女性やご年配の方、心配されている方がいらっしゃるかと思うのですが、1人で参加しても大丈夫でしょうかというご質問もあります。

相場：1人で参加ね。

前川：いっぱいいますよ。

相場：いっぱいいますよね。全く、ノープロブレム。

前川：24歳女性とか、80歳男性とか。

相場：86歳だっている。

前川：そうですね。

相場：全然、大丈夫ですね。

加藤：だんだんやはり、それでコミュニティーとか、少しずつお話しするように、懇親会とかに出させていただいたりすると、お仲間が増えていく。

相場：増えていきます。体調が悪くなっても、医者がいっぱいいるから。

前川：歯が悪くなっても、大丈夫ですね。

相場：歯医者さんもいっぱいいるし。

加藤：そちらの心配もない。

相場：髪の毛が伸びたら、美容師。悪いことをしたら、大丈夫。警察官もいるし、弁護士もいる。こっちに警察官で、こっちに弁護士がいる。

藤岡：いらっしゃいます？

相場：いらっしゃいます。

前川：すごいコミュニティーですね。

相場：すごいコミュニティー。何かそのうち泥棒が入って。一生懸命、練習したりして。おまえ、もう泥棒やるんじゃない。

加藤：そうですね。

相場：株で取れるようになって。「つつい手が動いちゃいました、旦那」なんて。

加藤：では、次に。次、ずばり、どのくらいの期間で勝てるようになりますかというご質問です。

相場：はい。これはよく聞くのですけれども、非常に稚拙な質問なのですよ。これを聞く度、少し嫌なの。なぜかと言ったら、それはあなたの問題でしょう。例えばわれわれが同じぐらいの受験世代のときに、ここに参考書があって、問題集があって、全部やれば、東大に入れるのだけれども、はっきり言って、やらないのだよね。ところが、羽生結弦選手が何か言った言葉とか、錦織選手が言った言葉とかあるではないですか。「やれることは全てやった。あとは練習どおり滑るだけです」。だから、俺たちで言ったら、この参考書 20 冊をやった。英単語を 1 万語覚えた。問題集を全部やった。やれることは全部やった。だから、受かるはずなのですよ。だけれども、受験勉強を思い出すと、それぞれやれていないではないですか。あちらの東大とか、慶応の人とか、医師国家試験。だから、そういう人たちは別にして、基本的にやらなければならないことをやりきれていないだけですから、そうすると、これはどれくらいの期間というか、やりきればできるようになってしまいますよ。現になっている、なっている、なっている。

それで、一番言いたいのは、まず 3 カ月である部分はできるようになる。お医者さんだったら、盲腸の手術ぐらいできる。そこの学んだことを、オンラインでいろいろなものが届くから、何度も何度も見ていくと、1 回目で見るときはこれだけしか分からなかったのに、3 回も 4 回も動画を見ていただくと、何か、あれ、俺、こんなことに気付いていなかった。10 回ぐらい見ると、あれ、俺、最初に講義で聴いて、うんうんと言っていたのは、俺がうそだったとなるわけですよ。そうすると、できる範囲がどんどん広がっていく。

だから、ご提供するものは完璧なものだから、あとはご自分の問題になってきて、前川さんとか、O 橋さんとか、亀山さんのように、まだ 3 年とか 2 年とか 1 年だけれども、やりきった方はほぼ取れるようになる。だから、自分との戦いではあるという感じがしますね。

加藤：以上、皆さまからのご質問にお答えいただきました。

それでは、相場先生、前川さん。動画をご覧の皆さまに、最後にメッセージを頂けませんか。

相場：最後にメッセージね。何かこんな長ったらしいおじさんのお話を聞いていただいて、本当にありがとうございます。株トレード道場ですね。The Final は分からないけれども。道場というぐらいですから、道場ですよ。道場（どうぞ）、入ってくださいという（笑）。

加藤：ここでも駄じゃれが。

相場：道場だから、やはり一緒にこう、練習を重ねていくと、それを鍛錬というのね。鍛錬を重ねていって徐々に上手になる。例えば何か今、ここでご飯を食べたとしたら、すぐに骨とか肉にはならない。何時間かたたないとならない。それを、今、食べたから、すぐ、何か食べて 1 秒でうんちに出るなんてないでしょう？ やはり何時間かたって血や肉になる。従って、鍛錬を続けていく中で上手になっていくのだらう。それをよく心に留めて、大人の努力をしましょう。

よくネット上で「寝ていても 300 万円」とか。メールとかが来るから。「あなたに 3,000 万円、毎月、プレゼント」。おまえ、くれるわけがないだらう。中を見ると「こんなもうけ話があつて、株なんか、もう 2 秒で、片手でできます」なんて。そんなパソコンなんか片手で、俺でも押してるよという話。

何を言いたいかという、道場だから、一緒に努力をして、自分を高める。そういうことを一緒にやっていきたい。その代わり、大変、皆さんに申し上げますが、一生ものの技術。ずっと死ぬまでできるようになります。どんどん上手になる。それから年齢を重ねるごとに上手になっていくわけです。ある程度、メンタルもありますから。年齢を重ねていくと、若い頃、びっくりしたのが、今、びっくりしなくなりますから。ここはこうするべきだ。待てよ。落ち着いて、ここはこうして、こうしたほうが良いというのを、戦略的に年齢を重ねるとできるようになる。もうキューバのカストロ首相なんか、すごいと俺は思う。カストロ大統領。

加藤：議長。

相場：議長なんかすごいと思うよ。だって、90 歳。お亡くなりになったけれども。90 歳で、アディダスのジャージを着て、国会に出るのだから。多分、俺も 90 になったらできると思う。なぜかという、もう心がそんな、アディダスで出たら駄目だとか思わないわけ。ネクタイもいい。とにかく中身を話そう。何を言っているか、分からなくなったけれども。

結局、年齢を重ねるほど上手になっていきます。ですから、一生ものですから、そういう技術を身に付けるつもりで今から始めていただくと、年齢が若いときに始めれば始めるほど、将来、伸びしろがあります。ただ、ある程度、年齢が行ってしまっても、今度は人生経験を重ねているから、トレードが上手になりますから、その方もぜひやっていただきたい。つまりまとめると、一生ものの技術を、真剣に決断をして、大人として一緒に学んでいただけたら、多分、一生のお付き合いができるかなという感じがします。

私の目標は、皆さんとお知り合いにならせていただいて、そこで努力を重ねていただいて、3 年後に「どうぞ、出てください」と言ったときに、その 3 年間は利益が出ますけれども、そこで「どうぞ」と言って、そこからスタートで 1 億円を 5 年以内につくる人を 500

人つくっていききたいなということ。これは本気で考えています。現に候補者がいっぱい。もうなってしまうている。すみません。なってしまうている。たくさんいらっしやいますから、ぜひ、そんなつもりで真剣にやっていただければ、必ず皆さんがお考えにならなかったような資産形成ができる。

お考えにならなかったのは、例えば今、一流企業を部長職で辞めて、退職金は恐らく 3,500 か 4,000 万円ぐらいだと思えるのです。税金を取られてという話ですけれども。そういうものははるかに超えられる資産をつくることのできるチャンスかなというふうに考えていますから、真剣にちょっと、大人のいい仲間とやっていただければと、このように思っております。

加藤：続いては前川さん、お願いします。

前川：僕も師匠に出会って、人生が変わった、間違いなくその 1 人なので。しかも、いいほうに変わったわけではないですか。だから、自分が受けた恩というのですかね。それを恩返しするつもりで、ぜひこういう、本当にいいものを世に広めるのをお手伝いさせていただいて、それで恩返ししたいなとやはり思っているのですね。

師匠の技術は、やりさえすれば、できるではないですか。当たり前なのですけれども。だから、このやりさえすればできるというのは、すごく幸せな状態ではないですか。

相場：そう。

前川：なのですよね。

相場：そう、やればできる。

前川：やりさえすればできるのに。

相場：何でやらない。

前川：いや、本当に心の底からそう思うので、ぜひこれを広めて、皆さんに豊かな生活を送っていただきたいなと思って。

師匠、何か、たまにお弟子さんの前で、もうちょっと引退してしまおうかみたいな話をちらっとたまにされるではないですか。そのとき、ちょっとどきっなんて思うのですけれども、やりさえすればできるというのがいつまでも与えてもらえるとは限らないので、やりさえすればできるときにぜひやっていただきたいという、そういう気持ちはあります。

藤岡：古いけれども「今でしょ」ですね。

相場：前川さんも伝道師として、教える立場に回って、すごく今、最近、情熱が出てきて。

前川：そうですね。

相場：今、出演いただいたお二人ね。お二人みたいな。なんだっけ。

加藤：〇橋さんと、亀山さんですね。

相場：いや、ほら、あだ名で呼んでいるからさ。〇橋さんはバクちゃんと呼んでいるし、亀ちゃんは亀ちゃん。名前が何か分からなくなってしまって。

前川：社長が変わると分からなく。

相場：確かに。お二人も伝道師の「で」ぐらいまで行ってくれていて。ラジオ出演で、みそぎは。みそぎではないや。通過点は終わっているから。とにかく私はこういうことをやり始めて大体 3 年たったのですよ。その間に自分でやって、孤軍奮闘してきたけれども、藤岡さんのような仲間ができたり、それから皆さん、お弟子さんが育ってきて、何か後輩を育てようという仲間が増えてきて、うれしいですね。

何かよく言うのですよ。自然の法則に従うのが、一番、運気が上がる。自然の法則というのは何かといたら、木が生えていって、その木が出てきた葉っぱは必ず落ちる。その葉っぱが腐って、木の栄養になる。その木からまた葉っぱができて、また腐って、栄養になる。つまりいい循環ではあるのですが、やはり自分が後輩のためになるというのは、やはり自然の法則に合っていると思うのですよ。それはすなわち、われわれは株の利益だけではなくて、株の利益は、われわれはこれからいくらでも取れてしまうような雰囲気ではないですか。そうではなくて、運気も上げていかないと、どんなにお金があってもが一瞬落とされることがあるというのは、私は世界中のそういう人たちを見てきているから、よく分かるのですね。前川さんとかお二人もそうだと思うのですけれども。ぜひ、そんな感じで、これは、今、伺って、もう育てる気満々でね。頑張ってください。

加藤：先生がたくさん増えていくような。

相場：うれしいですよ。

加藤：そうですね。

相場：はい。みんなでみんなを盛り上げていく。俺たちも盛り上がりよう、って。

前川：それはもう（笑）。

藤岡：盛り上がってしまう。

前川：盛り上がってしまっているね。もう机が持ち上がっています。

相場：そうですか。ありがとうございます。

加藤：何か相場さん、そして前川さんとお話を聞きまして、それはこう私自身もちゃんと受け止めて頑張らなくていけないと決意を新たに致しました。

相場：ある程度ね。

加藤：一生ものの技術を身に付け。

相場：結構できるようになったもんな。

加藤：うーん。でも、まだまだ。

相場：これからね。

加藤：何か、なかなか度胸がなくて、一步が踏み出せないのですが、2017年はぜひ、実践をしたいと思っておりますので。

相場：以上、加藤満里子アナウンサーの決意でありました。

加藤：はい。皆さんも一緒に勉強しましょう。

相場：では、次の番組。違うか（笑）。

加藤：はい、それではお時間のほうも迫ってまいりましたので、いつものポーズで締めくくりたいと思います。

相場：分かりました。行きましょうか。では、行きます。では、準備をして。皆さんで。

全員：株は技術だ！